

様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和7年 6月 25日

（あて先） 岐 阜 市 長



提出者

住 所 岐阜県関市小瀬1 1 1 8番地4

氏 名 株式会社 山佐組

代表取締役 久保 正和

電話番号 0 5 7 5 - 2 1 - 3 0 0 1

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	岐山高北舎解体工事
事業場の所在地	岐阜県岐阜市長良小山田地内
計画期間	令和7年4月1日～令和8年3月31日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成工事高 1,045,735千円
③ 従業員数	30名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>処理業者の確認 委託契約書の締結 許可証の写しを頂く マニフェストの発行 関連書類五年間保存</p> <p>コンクリートがら → 中間処理業者に委託して、破碎、再生砕石として再資源化 アスコンがら → 中間処理業者に委託して、破碎、再生砕石として再資源化 その他がれき類 木くず → 中間処理業者に委託して、チップ、堆肥等に再資源化 紙くず → 中間処理業者に委託して、再生処理及び燃料として再資源化 廃プラスチック類 → 中間処理業者に委託して、燃料等に再資源化 廃石膏ボード → 中間処理業者に委託して、石膏原料として再資源化 混合物 → 中間処理業者に委託して、選別後、最終処分業者に委託処分 建設汚泥 → 中間処理業者に委託して処理後、砂・砂利再生土として再資源化</p>

（日本産業規格 A列4番）

(第2面)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

- (管理体制図)
- ISO14001による環境マニュアル（手順書）による管理体制にて行う
- ① 現場代理人にて、業者選定、産業廃棄物委託契約書の作成、産業廃棄物管理票（マニフェストの発行）を行う
 - ② 現場代理人にて、排出状況を取りまとめる（廃様1）
 - ③ 工事終了後、現場代理人は、ISO14001による環境マニュアルによる、順法監査チェックリストで、確認終了後、委託契約書、産業廃棄物管理票（マニフェスト）廃様1 を総務部にて保管する（5年間）
 - ④ 行政に対する報告は、産業廃棄物管理票交付等状況報告書を総務部にて年に1回行う

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	排出量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	排出量	t	t
	(今後実施する予定の取組) 各現場において、最適な解体方法を選定し、分別解体を進める。 なるべく混合廃棄物の量を減らし、リサイクル率を上げる		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類(コンクリートガラ、アスファルトガラ、その他がれき類) 木くず、石膏ボード、繊維くず 他の廃棄物が混入しないようにしている。
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 混合廃棄物の分別を徹底して、再資源化に取り組む。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙記載	
	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙記載	
	自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類_	別紙記載	
	自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類_	別紙記載	
	自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 6 年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
	処理施設の定期的な視察 適正に処理されているか否かの確認 マニフェストの確認 委託基準に従って産業廃棄物を委託できる業者を選定し書面による契約を実施		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	別紙記載	
	全 処 理 委 託 量	t	t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	t	t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	t	t
	(今後実施する予定の取組) リサイクル材の利用促進 可能な限り再生利用業者へ委託する 分別解体の促進 (混合廃棄物の減量) 廃棄物の減量化 (現場での破碎、切断) 委託処理業者への現地視察確認		
	※事務処理欄		

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

別紙

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（令和6年度）実績】												
	産業廃棄物の種類	コンガラ	アスガラ	木くず	廃ブラ	石綿	ガラス 陶磁器くず	廃石膏	混合廃棄物 （管理型）	水銀			
	排 出 量 (t)	7022.24	141.26	109.23	7.00	0.26	3.50	84.00	24.83	0.159			

② 計画	【目標】 平成7年度												
	産業廃棄物の種類	コンガラ	アスガラ	木くず	廃ブラ	石綿	ガラス 陶磁器くず	廃石膏	混合廃棄物 （管理型）	水銀			
	排 出 量 (t)	7022.20	141.20	109.20	6.00	0.20	3.40	83.00	24.80	0.15			

[illegible]